

“Bureaucratic reputation in the eyes of citizens: an analysis of US federal agencies”

「市民の目から見た官僚の名声：アメリカ連邦政府機関の分析」

Danbee Lee, Gregg G. Van Ryzin

Abstract

官僚制組織の名声は、多数の人々からなるネットワークに埋め込まれている行政機関の能力、役割及び義務に関する一連の信念から定義される (Carpenter 2010)。民主主義における最も重要な人々の一つは市民であるが、特定の政府機関に関する市民の考え、そしてどのような個別的及び文脈的要因がこれらの信念に影響を与えるのかを調べた実証的な調査はほとんどない。

この問いを調査するため、本研究では 2013 年に実施された Pew Political Survey の独創的な調査データを分析する。この調査は 12 の連邦機関の名声についての代表的な 1500 人のアメリカ市民の回答を示している。本研究の結果から、いくつかの政府機関（疾病予防管理センター、航空宇宙局など）は、他の機関（内国歳入庁、教育省など）よりも高い名声を市民から得ていることが示された。回帰分析の結果は、政府への信頼に関する市民の一般的な水準及び政治的イデオロギーに応じて政府機関の名声が異なるということだけでなく、人口統計的、社会経済的及び宗教的な違いもまた名声に関する判断を形成するということが示された。これらの結果は市民の視点での政府機関の名声に関する予備的ではあるが実証的な理解を提供し、公衆との関係を管理しようとしている行政機関への含意を有するであろう。

Points for practitioners

官僚制組織の名声は、公務員にとって重要な含意を有する。その理由は、官僚制組織の名声は政府機関の自律、権力、正当性に影響を与えることに求められる。我々の研究は 12 の連邦政府機関への名声を調査し、市民からの名声の高さを決定する個別的及び文脈的要因を特定している。また我々は、名声が機関によって異なること、そして、特定の要因（特に、政治的イデオロギー及び政府への信頼）が、世間からの名声をどのように形成するかを示している。これらの結果は、市民がより批判的になる中で、実務家が自らの機関の名声を戦略的に管理するためのよりよい方法に対する理解を深めるのに役立つ。